

中小企業・小規模企業の振興 に関する報告書

令和4年3月28日

白河市中小企業・小規模企業振興会議

中小企業・小規模企業の振興に関する報告

当市の大多数を占める中小企業者・小規模企業者は、地域に根差した事業活動を通じ、当市の経済発展と市民生活の向上に大きく寄与して参りました。

しかし近年、先行き不透明な経済状況、人口減少・少子高齢化社会、急速なグローバル化の進行、産業構造の変化、価値観やライフスタイルの多様化、さらには地球環境問題への対応など、厳しい状況にあります。

このような中で、地域の産業をさらに活性化させ、活力と賑わいのあるまちを実現するうえで重要となるのは、産業に携わる関係者が相互に知恵を出し合い、連携し、そして協働していくことです。

そこで、市は令和2年4月に「白河市中小企業・小規模企業振興基本条例」を制定いたしました。

その中で私ども「中小企業・小規模企業振興会議」では、会議設立の趣旨を踏まえ、当市の中小企業の振興に関する現状・諸課題を検証し、より効果的な施策に繋げられるよう取りまとめましたのでご提出いたします。

この度の振興会議での協議・審議の内容を基に課題解決に繋がる施策について、ご検討くださいますようお願い申し上げます。

白河市中小企業・小規模企業振興会議 会長 鈴木 俊雄

課題Ⅰ	中小企業・小規模企業振興基本条例の周知について
-----	-------------------------

【現状】

市中小企業・小規模企業振興基本条例は、市内中小企業の振興に関する施策を総合的に推進するとともに、地域循環型経済を確立することで、経済の活性化と市民生活の向上を図ることを目的に令和２年４月に制定された。

今後、中小企業の振興のためには、全ての市民等が中小企業の重要性を理解し、商品やサービスの利用等を通じて、中小企業を応援していく事が重要である。

【取り組むべき課題】

- ・ 本条例の情報発信
- ・ 中小企業に関わる全ての方々の中小企業支援の機運醸成と役割の明確化

課題 2	人材の確保・育成支援について
------	----------------

【現状】

当市においては、大学等進学をきっかけに若年者が首都圏等へ流出し、また、一度市外へ流出すると戻って来ない傾向が強く、このことが人材不足に拍車をかけている。

さらに、市内企業へ就職しても定着に至っていない現状もある。このような状況に対し、企業が継続・発展していくためには人材確保及び定着を図るための施策を講じる必要がある。

【取り組むべき課題】

- ・ Uターンや I ターン就職希望者への市内企業の情報発信
- ・ 体系的なインターンシップや職業体験制度の構築
- ・ 職場環境の改善、生産性向上、働き方改革等による企業価値の向上
- ・ 高校生、大学生の市内企業への就職促進
- ・ 地域企業を地域で支える機運の醸成

課題 3	地域企業のデジタル化の推進について
------	-------------------

【現状】

地域企業においては、慢性的に人手が不足している状況にある。

このような状況に対し、企業が継続・発展していくためには、IT化・デジタル化による少人数で業務を行える体制の構築を図ることともに、業務を効率化することで、コスト削減や労働環境の改善につなげていくことが必要である。

【取り組むべき課題】

- ・DXの正しい理解とデジタル化を推進する企業への支援制度の構築
- ・デジタル化を担う人材やICT関連企業の育成支援
- ・デジタル技術を活用した地域経済の活性化
- ・行政サービスのデジタル化の推進
- ・コロナ禍による「新しい様式」への対応、テレワークなど新しい働き方への対応の検討

課題 4	カーボンニュートラルの推進について
------	-------------------

【現状】

昨今、異常気象などの気候変動問題が顕在化し、主な原因となる温室効果ガスの排出削減は、地域規模での対応が求められており、政府も 2050 年までにカーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言している。

この大きな潮流の中、地域企業は、コスト負担増やルールチェンジによるリスクの側面を意識しつつ、カーボンニュートラルへの挑戦を成長の機会と捉えて、生産性の向上や新事業の創出など、自らの経営基盤の強化につなげていくことが重要であると認識している。

【取り組むべき課題】

- ・「ゼロカーボンシティしらかわ」を宣言に基づき、「ゼロカーボンシティ」の実現に向けたロードマップの策定と市民への周知徹底
- ・小水力や水素エネルギーなど新たな再生可能エネルギーの検討やエネルギーの地産地消の推進
- ・地域内の再エネ関連企業の育成と企業連携の促進
- ・脱炭素社会の実現に向けたライフスタイルへの転換
- ・環境負荷の低い商品・エネルギー・サービスなどの選択

白河市中小企業・小規模企業振興会議 委員名簿

※期間：令和２年４月１日～令和４年３月３１日

(敬称略 令和３年１０月３１日現在)

会 長	鈴木 俊雄	白河商工会議所
委 員	大越 正弘	福島大学地域創造支援センター
委 員	酒井 良子	株式会社アーバン
委 員	櫻岡 敏之	株式会社サクラテック
委 員	伊藤 隆之	株式会社二葉写真製版
委 員	渡辺 カ	株式会社ワタナベホールディングス
委 員	松本 弘	株式会社ステラフーズ
委 員	関谷 裕幸	関谷農園
委 員	和知 政彦	一般社団法人産業サポート白河
委 員	吉成 真五郎	福島県中小企業家同友会白河地区
委 員	鈴木 博成	表郷商工会
委 員	内場 茂之	日本貿易振興機構福島貿易情報センター
委 員	鈴木 雅文	株式会社楽市白河
委 員	福島 勲	日本政策金融公庫郡山支店
委 員	渡辺 友樹	福島県信用保証協会白河支店

【異動等により退任された委員】

委 員	高橋 健	ひがし商工会
委 員	中川 明子	日本貿易振興機構福島貿易情報センター
委 員	荻島 智	日本政策金融公庫郡山支店

【事務局】

白河市役所産業部商工課